

ヒノキチオール・バラの 灰色カビ病抑制効果テスト

日生化学株式会社が生産するヒノキチオール鮮度保持フィルムが切り花の灰色カビ病を抑制する効果をバラ、リシアンサスでテストした。バラとリシアンサスは愛知県JA豊橋にご協力を頂き、札幌花き園芸(株)経由で仕入れをし、同市場の日持ち試験室、並びに生花店フルーロン花佳にてカビの発生具合をチェックした。

ヒノキチオールとは？

- ヒノキチオールは、台湾に分布するタイワンヒノキ、青森県に分布する**青森ヒバ**、北アメリカからカナダに分布するニオイヒバなどの樹木の精油中に存在する成分。
細菌や真菌など菌種を問わず**広い範囲**に強い抗菌活性をもつ**防腐剤**として古くから知られている。最近では**環境問題意識**が高まり、こうした**天然素材**商品が見直され、ここ数年で非常に注目を浴びている。
特に化粧品に多い。この成分をシート状にしたものが今回のテスト品となる

1回目 2023-7-14スタート
品種 バラST プリンセスメグ
バラSP チアガールアプリコット



1 がシート有り、2かシート無し



7月17日スタート オーブスノー
エコーレブルー
箱の側面にA4シートの4分の1サイズ張る



エコーレブルー シート有もすでにNG



入荷時からどの品種もカビが見られた



2023-7-18 試験4日後 左がシート有り
右がシート無し どちらもカビ発生



2023-7-18 試験4日後 プリンセスメグ

